

「全国高専卒業生ネットワーク」設立について

[協力のお願い] 2011 年 7 月

(代表) 佐藤 義隆
東京高専名誉教授 (数学)
芝浦工業大学デザイン工学部教授

高専卒業生のみなさんへ

高専関係のみなさんへ

我が国では人間関係の希薄化が急速に進み、そして経済の低迷、雇用不安、さらに大震災被害や今後に予想される大規模地震災害、深刻な原発事故等々によって、大きな不安や孤立感を抱かれておられる方は少なくないと思います。この様な社会では、自分の生命や自分の生活は、私たち自身の手で護って行く必要があると考えます。精神的な安定感を得てより豊かな生活を築くためには、多くの人達が手を取り合い、協力し合って行くことが是非必要なことと思われま

私は東京高専に36年間数学教員として勤務しました。常々高専生の持つひたむきな真面目さと高い能力に感心しそれを誇りに思っております。

高専は創立以来既に45年が経過し、毎年1万人以上の卒業生を送り出し、総計では40万人以上に達し、日本の技術者全体の12%以上を占めるに至っております(総務省統計)。しかし、もの造り型の高専卒業生は、優秀で実力がありながら自己主張や他者との連携についてはあまり得意ではなく、これだけ質の高い人材が多数いるにも拘わらず、社会の中であまり目立たない存在になっているというのが実情と思われま

卒業生の中には、科学技術以外の様々な分野でも高い能力を発揮し活躍されている人も少なくありません。どのような分野においても、自己の信念に忠実に生きておられる方々が殆どだと思います。

いろいろな生き方と、いろいろな個性をもつ人達がこの数十万人の中には沢山おられると思います。これらの人達が手を結び合って協力し合えるコミュニティは、今の様な時代においては特に必要であると考えま

そのような理由から私たちは「全高専卒業生ネットワーク」を立ち上げることに致しました。その趣旨は次のよう

本会の会員対象者としては、全国高専（国、公、私立）卒業生、高専中退者、高専関係教職員（既に退職した人も含む）、高専関係者の家族および友人を考えます。

活動目的は、

1. 職業、技術、生活等について、会員間の情報交換や、協力し合

えるネットワークを機能させる

会員の持つ職業情報（就職・転職・求人等）、技術情報（技術、知識、技能、起業、経営、支援協力）、生活情報（趣味、介護、旅行、料理、健康等）について、幅広い情報提供・交換、支援・協力を行う。

2. 被災時に相互に助け合うネットワークを機能させる

地震等による災害が起きた場合、次のように対応します。

緊急支援対策本部を設置する（ボランティアスタッフを募集）

被災された会員についての情報を収集し、会員に提供する

被災会員への義援金を募る

寄せられた義援金を登録された被災者へ配分し、直接個人へ届ける

支援活動終了後は、会計報告をして緊急支援本部を解散する

本会は、義援金についての募集と分配のみを扱う。

3. 会員相互の親睦、呼びかけ、活動のできる場を設定する

個性豊かな幅広い年齢構成による多くの人達の、集団内における様々な社会活動、趣味的サークル、勉強会等の呼びかけや意見交換などを行う

4. 高専卒業海外留学生を含む国際的ネットワークを機能させる

国立高専は、25～30ヶ国から毎年国費・政府留学生約160名を受け入れており、既に卒業留学生は約3,500人に達しています。私は科研費による研究として留学生出身国18ヶ国を訪問調査し（2001年～2006）、卒業生達とも会いましたが、母国で非常に厳しい選抜を経ていること、成績のみならず人格も優れていることを実感しました。高専での成績もトップクラスの人が殆どですが、残念なことに卒業後は音信不通となっている方が殆ど

です。卒業留学生とのネットワークは、卒業留学生にとっても日本人達にとっても、双方に大変大きなメリットがあると思います。（例えば、卒業留学生からの日本の技術等に関する問い合わせや支援要請、外国で起業する場合の現地における協力依頼、あるいは文化、旅行等についての個人的な交流等々。これらには私たちの生活を豊かにしてくれる大きな可能性もあると思います。）

5. 高専現役生への支援

在校生にとって「自分の将来についての展望をはっきり持つ」ことは、勉強意欲を高める大きな要因になると考えます。卒業生達がどのような活動をし、その集団の中でどのように援け合っているかを知ることは、卒業後の自分の姿や自身の位置を明確にし易くすると思います。また職業、業種、会社等の選択時に於いても、具体的に相談できる強力な卒業生集団があるということは大変心強いことと思います。「卒業すれば自分もその一員となって活躍できる」という意識を持つことは、在学時から大きな励みと誇りになるに違いありません。

（卒業生には既に定年を迎えられた方々も多数おられると思われまます。出身校のみならず全国の後輩たちを視野に置き、助言や支援を幅広く行っていける方々と期待しております。）みなさまにおかれましては、この活動の趣旨に賛同下さいまして、会員になって頂ければと思います。会員が多ければ多いほどこの会は威力を発揮します。多くの方々に会員になって頂きたいと思ひます。会員としての義務や負担等、一切ございません。会の運営や実務関係については、ボランティアスタッフを別途募集し、余力と興味のある人達で行って行きたいと考えております。

この会の運営にご協力頂ける方、おもしろいアイデアをこの会で実行してみたい方、あるいはアイデアのみの提供など、いつでも歓迎いたします。

会員登録先 [all-kosen-net \[a t\] hotmail.co.jp](mailto:all-kosen-net[at]hotmail.co.jp)

メールに下記のことをご記入下さい

氏名

出身高専名 [卒業年、学科、]、 関係高専名

（中退者におかれましては、中退年、在学期間 もお願いします。

教職員におかれましては、職種もお願いします。）

メールアドレス、住所、電話番号 （連絡のできるものなら可）

ご家族、友人等、高専関係以外の方を紹介される場合、その方の氏名等

自由記述

自己紹介、本会に対する希望・要望、ボランティアスタッフとして協力可かについて、等々、ご自由にお書き下さい。

備考：上記アドレス以外の連絡先

252-0112 神奈川県相模原市緑区若葉台 3-18-7

佐藤 義隆

sato-y [a t]sic.shibaaura-it.ac.jp,

higesato [a t] hotmail.com

発起人 2011年6月現在（代表者を除く）

高専教員

阿蘇和寿（石川高専教授）、五十嵐貫（マラ工科大学 INTEC、マレーシア）、梅野善雄（一関高専教授）、伊藤彰（東京高専教授）、永川元（マラ工科大学 INTEC、マレーシア）、岡本信之（松江高専名誉教授）、小原康博（熊本高専教授）、河東仁（立教大学教授）、貴田研司（東海大専任講師）、黒崎茂（東京高専教授）、斉藤純一（都立産業技術高専准教授）、佐藤修一（鶴岡高専名誉教授）、佐藤直紀（長岡高専准教授）清水昭博（東京高専准教授）杉江道男（都立産業技術高専教授）、末次 武明（神戸市立高専教授）、芹沢正三（東京高専名誉教授）、高見昭康（松江高専准教授）、竹田正（マラ工科大学 INTEC、マレーシア、新居浜高専名誉教授）、（坪川武弘（福井高専教授）、豊成敏隆（都立航空高専名誉教授）、長岡耕一（旭川高専教授）、長水壽寛（福井高専教授）、長谷川貴之（富山高専教授）、原田幸雄（徳山高専教授）、古屋正俊（東京高専教授）、松田修（津山高専教授）、松田重生（富山高専名誉教授）、前田善文（長野高専教授）、向山一男（都立産業技術高専教授）、馬淵雅雄（八戸高専准教授）、柳井忠（新居浜高専教授）、山本茂樹（茨城高専教授）

注； マラ工科大学 INTEC、マレーシアは、高専へのマレーシア政府派遣留学生の予備教育を行っています。